

埼玉から世界へ向けて

# Friendship News

No.136

2024年3月号

フレインドシップニュース



ホームステイ当日



世界へのトビラ・交流会



ルワンダ滞在中の奨学生

## Contents

- 中学生のためのオンライン日本語教室 ▶ P.2
- 国際理解教育「世界へのトビラ」勉強会
- 2024年度「埼玉発世界行き」奨学金 ▶ P.3  
奨学生募集！
- 元奨学生の活動紹介  
～ウクライナの孤児院へオムツを届けよう～
- 令和5年度第2回外国人相談研修会 ▶ P.4
- NEWS from GGS ▶ P.5
- 世界の国からこんにちは（ルワンダ編） ▶ P.6
- ホームステイボランティアについて ▶ P.7
- イベント情報や各種お知らせ ▶ 裏表紙



公益財団法人  
埼玉県国際交流協会  
Saitama International Association



## 中学生のためのオンライン日本語教室

当協会では、令和5年度から、日本語を母語としない中学生のための「オンライン日本語教室」を実施しています。新座市、戸田市、北本市、和光市、鶴ヶ島市、さいたま市の11校から毎回8人ほどの生徒が参加して行っています。

この日本語教室の目的は、①日本語に触れる機会を少しでも多く提供することで、日本語で考え日本語で話す時間を増やすこと。②教室での小さな課題をクリアすることにより多くの成功体験を積んでもらうこと。③同じような立場の生徒とのつながりの場を提供すること。です。

そして、生徒の皆さんが、日本での普通の生活に自信をもって、日本語の学習や色々な物事に取り組み始めるよう、後押しするのが最大の狙いです。

共通のテキストはなく、それぞれの回を担当する先生が作成した資料をもとに、先生と生徒で、また生徒同士で楽しく会話をしています。最初は緊張した様子の表情で、発言が多くなかった生徒さんも、回数を重ねるごとに笑顔を見せてくれるようになり、にこやかな表情で発表する場面も増えました。

受験を控えている中学3年生も参加していますが、面接を意識した会話の練習も行っています。また、少しでも学校での学習の参考になればと、社会の地理に役立つ都道府県、特に関東地方についても、クイズ形式で楽しく学んでいます。

来年度は、まず指導者のための研修会を行うとともに、この事業と一緒に進めてくれる理解者を増やすことから始めていきます。そして、県内のより多くの市町村教育委員会の理解を得て、学校生活に困難を抱えている中学生の力になりたいと思います。

この事業はまだ始まったばかりですが、一步一步、でも確実に進めていきたいと思っています。

## 国際理解教育「世界へのトビラ」勉強会

小・中学校、高等学校等の教育機関や公民館等に、外国人講師や日本人講師を派遣し、国際理解教育を推進する「世界へのトビラ」。本年度は、県内各地32事業に、延べ180名の講師・アドバイザーを派遣し、5,692名（R6.2月時点）の児童・生徒及び地域住民の方々に、国際理解プログラムをお届けしました。

2月22日(木)には、本事業に携わる登録講師やアドバイザー（学校と講師間の調整役）を対象とした勉強会を開催しました。講師・アドバイザー合わせて26名にご参加いただき、事例紹介や積極的な意見交換が行われました。

また、勉強会後には数年ぶりとなる交流会を開催し、世界各地のご当地の味・おやつを紹介し合うなど、会場は和やかな雰囲気になりました。来年度も、より多くの子ども・人々の心に触れるような「世界へのトビラ」を実施し、国際理解を推進していきたいと、チームワークが高まるひと時となりました。

### 勉強会参加者の声

「小グループになって、具体的な事例を紹介しあい、いろんな意見を聞くことができとても参考になった。」

「インターネットで調べられる内容ではなく、講師自身がひとりの人間として語る自身の経験やストーリーを踏まえて自国の紹介をしたかった。」



### <今年度の勉強会の主な内容>

- ・オンラインでの全体会&授業事例紹介
- ・SDGs関連テーマの授業例&意見交換
- ・授業のグッドプラクティス情報交換

### 「世界へのトビラ」外国人講師募集

学校や公民館で、自分の国の文化や暮らし、遊びや踊りや食べ物などを紹介して下さる「外国人講師」を募集しています。

- ✓はじめての方でも大丈夫！日本人アドバイザーのサポートがあります。
- ✓まわりに当事業をおすすめしたい外国人の方がいらっしゃれば、ぜひご紹介ください！

➡詳細は協会へお問い合わせ下さい



# 2024年度「埼玉発世界行き」奨学金 奨学生募集！



「埼玉発世界行き」奨学金は、平成23年に県がこの制度を開始して以降、2,200人を超える若者に奨学金を支給してきました。留学を志す若者が経済的な理由で断念することのないよう、返還の必要がない給付型の奨学金です。

今年も次のとおり奨学生の募集を開始します。2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）に留学を開始する方が対象です。

詳しくは、グローバル人材育成センター埼玉(GGS)のホームページで要項をご確認ください。

**募集期間：2024年3月18日（月）～4月30日（火）**

募集人数：全23コース 142人

※低所得世帯等の学生に向けたコースや特例制度もあります。

応募方法：Webからのシステム登録による



GGSのホームページはこちらから

## 「埼玉発世界行き」元奨学生の 活動を応援してください！



富澤実留（とみざわみる）さんは、2022年度「埼玉発世界行き」冠奨学金 サイエイホールディングス奨学生として、バルト三国に位置するエストニア共和国の高校に約10か月間留学されました。

そこで富澤さんは自らの意思で留学した自分とは違い、やむなく家族と別れてエストニアにやってきた難民の女の子と友人になります。このことをきっかけに、人道危機の状態にあるウクライナのためにできることはないかと日本に帰国後、すぐに行動を起こしました。

現地で必要な物資がオムツや止血帯などであることを知り、寄附の呼びかけを開始。学校や地域への呼びかけから始め、年始めには集めた物資を現地へ送るための輸送費用を集める街頭募金活動も行いました。現在は、クラウドファンディングによる募金活動を実施しています。

富澤さんが遠いウクライナの自分を自分ごととして捉え、このような活動を始めたのも留学がきっかけとなったから。海外での経験は、間違いなく富澤さんの財産となっているようです。



**ウクライナの孤児院へオムツを届けよう！**

クラウドファンディングにご協力いただける方は、下記QRコードから詳細ページへ。

（クラウドファンディング「CAMPFIRE」のサイトです。）  
<https://camp-fire.jp/projects/view/735458>



協会でも富澤さんの活動を  
応援します！  
詳細は本誌の裏表紙へ→



## 令和5年度 第2回外国人相談研修会

外国人総合相談センター埼玉では、毎年2回、外国人相談員や県内で外国人相談に関わる自治体・団体職員の方などを対象に、スキルアップと相互の連携を目的に研修会を開催しています。

第2回目の1月29日（月）は「**在留外国人の労働状況**」をテーマに、社会保険労務士・行政書士の**タン・ジュー・ホア氏**を講師にお招きしました。

研修の前半は、労働問題の専門家であり外国人当事者でもある講師から、統計データや実際の相談事例をもとに貴重なお話をいただきました。

後半の意見交換会では、外国人相談員だけでなく、医療従事者や支援団体のボランティアスタッフなど、様々な現場で外国人相談に取り組む参加者同士が意見を交わしました。

日本で働く外国人労働者の人数は、令和5年10月の速報値（厚労省）で初めて200万人を突破し、今後も増加が見込まれています。埼玉県でも10万人を超える外国人が就労しており、社会の担い手としてなくてはならない存在になっています。彼らが埼玉で生き生きと暮らしていける一助となるため、引き続き相談窓口の運営・相談員のスキルアップに取り組んで参ります。



自分が考えていたよりも外国人労働者数が多くて驚いた。

他市や他団体の方とお話をする機会がないので、このような場を設けていただきありがたい。

外国人県民の人数と構成の変化ぶりが印象に残った。

相談を受けるには、広く浅い知識が必要だとわかった。

自分ももっと勉強して外国人に実際に役に立つ事をしようと思った。

参加者の声

### 外国人総合相談センター埼玉

13言語で無料の電話相談



048-833-3296

当協会の運営する「外国人総合相談センター埼玉」では、埼玉県に住む外国人のために、13言語で無料の電話相談と情報提供、公的機関との仲介通訳を行っています。

外国人の労働問題については、毎週月・水・金の入管専門相談、毎月第4火曜日の社労士による労働専門相談を実施しています。お困りの際はお電話ください。

●日時：月曜日～金曜日 9:00～16:00（※祝日及び12/29-1/3を除く）

●対応言語：13言語（ウクライナ語は予約制）

英語/スペイン語/中国語/ポルトガル語/韓国・朝鮮語/タガログ語/タイ語/ベトナム語/インドネシア語/ネパール語/ロシア語/ウクライナ語/やさしいにほんご

※ロシア語のみ10:00～16:00が対応時間となります。

## 国際交流イベントの参加者を募集しています！



グローバル人材育成センター埼玉（GGS）では、子どもたちとの遊びを中心とした交流による異文化理解を深める取組（外国人留学生等出前講座）を実施しています。

外国人の方には地域にある「子どもの居場所」の講師として、GGSと一緒に楽しい活動を企画してもらい、日本に来て驚いた文化・体験や、母国の食べもの、母国のゲームなどを子ども達に紹介してもらっています。

今年度は夏休み・冬休み期間を利用して、留学生と子ども食堂や学童保育などを訪問し、母国のゲームや学校生活を紹介してもらったり、母国の料理と一緒に調理したりして交流を楽しみました。

まだまだ子どもたちには“外国”についてイメージするのが難しかったかもしれませんが、興味津々で活動に参加してくれました。外国人との交流が新しい興味・関心に繋がればと思います。

来年度もイベントを開催しますので、興味を持っていただいた子ども食堂や学童保育の運営をされている方、留学生などの外国人住民の方はぜひGGSにお問い合わせください！

## 彩の国ビジネスアリーナ2024に出展しました！



1月24日、25日にさいたまスーパーアリーナで開催された「彩の国ビジネスアリーナ2024」に出展しました。

このイベントは、中小企業の受注拡大・販路開拓を目的として毎年開催されるものですが、今回はGGSの企業向けサービスのPRのため、当イベントに参加しました。

GGSでは、県内企業と外国人留学生等との就職マッチングの支援を目的に、国や県と連携して開催する会社説明会や、就職マッチング&フォローアップシステムの運営など、企業の採用支援をしています。

また、就職支援の他に、「埼玉発世界行き」奨学金における寄附企業の募集についても周知を行い、ブースには外国人留学生の採用や、海外留学等学生支援に興味のある企業を中心に多くの方にお立ち寄りいただきました。

GGSは、企業向け、日本人学生・外国人留学生向けに様々なサービスを実施しておりますので、より多くの方にサービス内容を知って活用していただきたいと考えています。引き続きこのような情報発信にも力を入れていきたいと思っております！

当イベントに御来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

世界の国からこんにちは



ルワンダ編

「暮らす」目線で見ると知る海外。  
埼玉県にゆかりがあり、海外に暮らしご活躍されている方から、その国のことを紹介いただく本企画。今回は、東アフリカのルワンダ共和国に留学中の「加藤 歩美さん」に紹介いただきました！

### なぜルワンダへ？

埼玉出身・東京外国語大学3年生の加藤 歩美です！  
現在、ルワンダで1年留学中です。紛争解決・平和構築に興味があり、ルワンダのプロテスタント人文社会科学大学で平和構築が学べることを知ったのが留学のきっかけです。ルワンダは1994年に起こった大量虐殺から凄まじい勢いで復興・発展を遂げており、「アフリカの奇跡」と呼ばれています。そこで、現地レベルで進んでいる平和構築を自分の目で見ながら、アフリカ出身の学生と平和を考える素晴らしい機会だと思い、留学を決めました。



首都キガリの様子

### ルワンダってどんな国？

ルワンダは「千の丘の国」とも呼ばれるほど、丘でできた国です。亜熱帯気候で緑がとても美しく、過ごしやすい気候です。ルワンダ人は穏やかで少しシャイな人が多く、日本人と少し似た国民性があるように思えます。首都・キガリはとても発展していて便利な暮らしができますが、キガリを抜けると首都との大きな経済格差を感じます。

主食はキャッサバなどでできたウガリと呼ばれるものやお米が食べられており、野菜と豆、肉（ヤギ肉、牛肉が主流）が手に入ります。（詳しくは私のルワンダブログ※をご覧くださいませ。）

### ルワンダの魅力

たくさんありますが、その中でも治安がアフリカの中で抜群に良いことが挙げられます。夜1人で歩いても大丈夫ですし、あまり日本と変わらない警戒度で暮らしています。また、物価が安いのも魅力的です。例えばパイナップルは1玉60円、アボカドは1個12円くらいです。

またルワンダは観光にも力を入れており、サファリでのゲームドライブや美しい湖でのクルージング、ゴリラトレッキングなどが有名です。



ホームステイ先での夜ごはん



留学先大学の平和構築活動クラブ

### 今後やってみたいこと

ルワンダにいる間にやってみたいことは二つあります。一つ目は現地のNGOで子どもへの教育・人道支援に携わり、ビジネスでどのような教育支援をできるか考えること、二つ目はブログやSNSを通してルワンダの魅力とリアルな生活事情を日本人に発信することです！

※加藤さんのルワンダブログはこちらから →



## 外国人留学生と日本文化を満喫！

当協会では、県内の大学で学ぶ留学生に、日本を身近に感じ「日本の家庭・日本の文化」を知っていたく機会として、また私たち日本人が外国の方を身近に感じ、外国の文化に直接触れる機会として、ホームステイ事業を行っています。

今年度はコロナ禍を経て来日する留学生が再び多くなり、ホームステイを希望する留学生も増えました。延べ86家庭が105人の留学生と、異文化交流を楽しみました。

### 今年2月に受け入れたホストの体験をご紹介します！

2月3日（土）～4日（日）の1泊2日で、韓国からの留学生が、県内在住のTさんのお宅にお邪魔しました。この日は、ちょうど節分の日。お子さん二人と一緒に、鬼に扮したお父さんを相手に豆まきをしました。また、誕生日が近かった留学生のために、ホストファミリーがバースデーケーキを用意。家族全員でお祝いをしてくださったようです。

留学生からは、「家族みんなが本当に優しく迎えてくれました。そして誕生日が1月だったのでホストから祝っていただきました。子どもが大好きなので、かわいい子どもたちに会えて嬉しかったです。」との感想がありました。

Tさんも「学生さんは皆、礼儀正しく気遣いがあって、4歳と7歳の子ども達も会ったその日のうちに馴染んで遊んでもらっています。私たちにとっては当たり前すぎて気づかない日本の習慣に驚いたり喜んだりしてくれる様子を見て、嬉しく思います。最初は言葉の壁を心配していましたが、自分たちと全然変わらない、と今では特に構えることなく受け入れを楽しみにしています。」と、おっしゃっていました。

### 2月10日（土）～11日（日）にミャンマーからの留学生を受け入れたYさんにインタビュー！

Q：ホームステイ受け入れを始めたきっかけは？

A：きっかけは、新型コロナウイルス感染症です。外の世界との関わりが減少し、自分の世界の狭さに怖さを感じました。わが子には、世界が広いと知ってもらいたいと思い、受け入れを開始しました。

Q：受け入れをしてよかったことは？

A：見た目も、考え方・生き方も全く違う人でも、話すことによって、とても素敵な人だと分かります。英語は上手く話せないのですが、それでも大丈夫という度胸がどんどんつきました。

皆さん、それぞれのスタイルで留学生との交流を楽しんでいる様子がうかがえました！

ホストファミリーの登録については、随時受け付けをしています。ご興味のある方は是非お問い合わせください！

留学生の誕生日をみんなで祝い！



世界地図の中からミャンマーを発見！



豆まきを体験！



お預かりした資金はウクライナのスムィ州に  
人道支援としてオムツを輸送するために役立てられます

3R推進活動!

## ウクライナに オムツをとどけよう!

さいたま市の高2  
がやっています!



余っている

未使用のオムツと募金の  
物資輸送のため 募金の  
ご協力をお願いいたします!

開封済OK!

大人用オムツ、子供用オムツ、医療品の止血バンドを  
ご寄付ください。

埼玉県内の学校や地域でも余っていたらぜひ回収します

5/31締切



から送って喜ばれる支援物資です。  
ロシア軍が最初に進軍したスムィ州に発送します。  
開封済みでも同じブランドやサイズに分けて  
ご寄付頂けると嬉しいです。

クラウドファンディングへのご寄付のご協力もお願い致します



さいたま市在住 高校2年生とみざわみる

お問い合わせ先: HappyUkraine2023@gmail.com

ホームページ

## 「埼玉発世界行き」元奨学生の 活動を応援してください!

元奨学生の現役高校生・富澤さんの活動「ウクライナにオムツを  
届けよう!」については、本誌P.3をご覧ください。

2024年3月1日(金)~5月31日(金)の期間、当協会事務局  
(北浦和)でも未使用オムツのご寄附と募金を受け付けます!  
大人用、子ども用のオムツで、開封済みでも同じブランドやサイズ  
に分けていただければ、受け入れOKです!  
埼玉県の高校生が立ち上げたこの活動を、皆さまもぜひ応援してく  
ださい!

写真: 寄付先の孤児院ウリャニフスカ特別学校



### 飲み物で国際協力

当協会の国際交流プラザには、コカ・コーラ ボトラーズジャパン及び  
FVジャパンと連携した寄附型自販機があります。お立ち寄りの際  
は、ぜひご利用ください。

あなたの一本が  
世界へ羽ばたく  
チカラになる。

売上の一部が世界各地で草の根の国際協力  
活動に取り組んでいる国際交流・協力活動  
団体(NGO)などの活動を資金面から支援  
する「彩の国さいたま国際協力基金」に寄  
付されます。

Part of the proceeds will be donated to "Sai-  
ta International Cooperative Fund".  
This Fund supports the international  
cooperation activities of several volunteer  
groups in various places of the world.

令和5年度助成事業: バングラデシュ学校における、貧困層生徒職業訓練を継続可能  
な運営するための収益化事業(NPO法人 YOU&ME ファミリー)



公益財団法人  
埼玉県国際交流協会  
Saitama International Association



### 埼玉県国際交流協会が運営する相談窓口

#### 外国人総合相談センター埼玉



TEL: 048-833-3296

埼玉県に住む外国人のための相談と情報提供窓口で  
す。生活全般に関する相談の他、専門家による相談  
も可能です。(労働相談、入国・在留手続きに関す  
る入管相談、法律相談、福祉相談)

・月曜日~金曜日 9:00 ~ 16:00

※祝日及び12/29-1/3を除く

・Eメール: sodan@sia1.jp

・(対応言語) 13言語

英語/スペイン語/中国語/ポルトガル語/韓国・朝鮮  
語/タガログ語/タイ語/ベトナム語/インドネシア語/  
ネパール語/ロシア語/ウクライナ語/やさしいにほんご



パスポート・マイナンバーカードの  
各種証明写真はクイックフォトスタジオで!



大宮・川越・川口・春日部 県内4か所

5年・10年長く使うものだからこそ、  
専属スタッフによる信頼・安心の写真撮  
影! 詳細はQRコードからご覧ください。

### クイックフォトスタジオに パンフレットを設置しませんか?

クイックフォトスタジオ各店舗には、海外へ渡航す  
るお客様の利便を図るためにパンフレット棚を設置  
しています。

お土産、クレジットカード、保険のパンフレット  
等々、手に取ってもらえるチャンスです。

ぜひパンフレット棚をご利用してみませんか?

詳細については、協会までお問い合わせください。

### 広告掲載について

本誌(フレンドシップニュース)への広告掲載をご希望の団体・企業様は、当協会までお問い合わせください。

2024年3月発行

公益財団法人 埼玉県国際交流協会 Saitama International Association

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-833-2992 / FAX: 048-833-3291 / Eメール: sia@sia1.jp

WEB: https://sia1.jp/ 本誌バックナンバーはこちらから➡



https://sia1.jp/t-pu-f/



コバトン  
さいたまっち